

1 第9次協議会の活動概要（案）

(1) 協議テーマ

札幌市のCO₂排出量は、民生家庭・業務・運輸部門で約9割を占めることを踏まえ、札幌型エコライフスタイルの定着に向けて、以下を協議テーマとする。

- 札幌市温暖化対策推進ビジョンで示す10のアクションのうち、主に3、4、5に係る温暖化対策
- 年間1,200万人の札幌市を訪れる観光客を対象とした温暖化対策

参考）札幌市温暖化対策推進ビジョンで示す10のアクション

1. 北国基準の省エネルギー住宅の普及	6. 太陽光発電設備の導入拡大
2. 高効率給湯・暖房機器の普及	7. 木質バイオ燃料の導入・利用拡大
3. 次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大	8. 再生可能エネルギー等の利用拡大
4. エコライフの定着・拡大	9. ごみ減量・リサイクルの定着・拡大
5. 事業活動によるCO ₂ 削減	10. 地域のみどりの育成

第8次との相違点

- 「10のアクション全て」から「主に3、4、5」へ対象とするアクションを絞り込み
- 「観光客を対象とした温暖化対策」を追加

(2) 協議方法

- 委員・札幌市が実施している既存の温暖化対策の現状と課題を整理する。
- 整理内容を踏まえ、協議テーマに基づき絞り込んだ第8次協議会提案事業や既存の取組の連携・組合せによるレベルアップなどを検討する。
- 実現性や実効性などを踏まえ、複数の想定事業を精査する。（提案と実践）
- 想定事業の一部を実践^{*}し、成果・改善すべき点・必要な札幌市の支援などを情報共有し、協議する。

※想定事業の実践は、協議会としてまたは一部の委員・札幌市が協働で実施し、第9次協議会の任期中に限らず、第10次以降の継続実施となる場合もある。

第8次との相違点

- 「委員による事業提案」から「既存の取組の現状と課題を踏まえた事業の連携・組合せによるレベルアップ・実践の検討」

(3) 総括

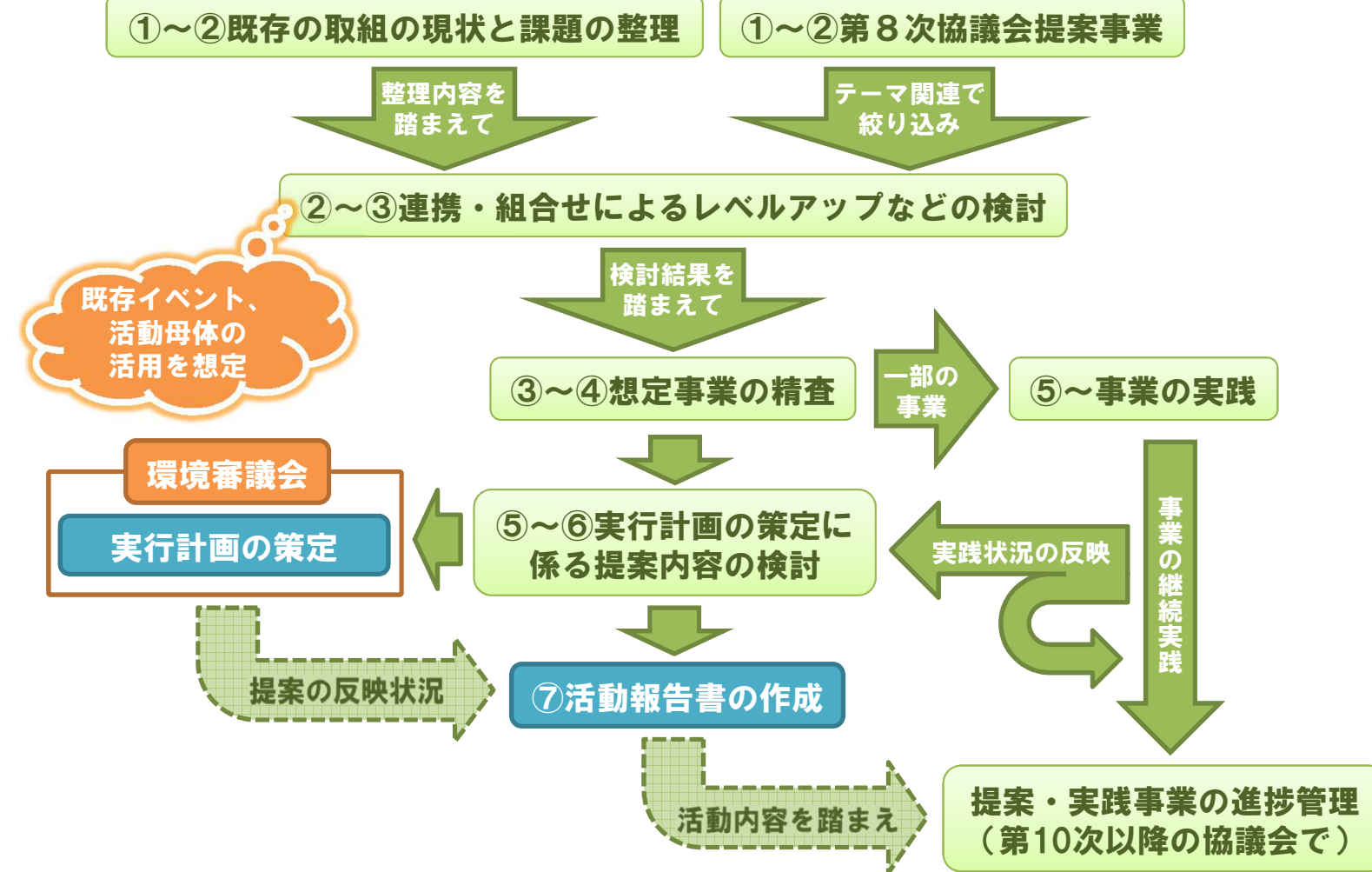
- 協議してまとめた想定事業（実践状況も含む）を、新たに策定する温暖化対策実行計画の具体的な事業として提案する。
- 協議内容を活動報告書にまとめて周知する。

第8次との相違点

- 「提案事業などの活動内容を活動報告書で周知」に「新たに策定する実行計画の具体的な事業として提案」を追加

2 第9次協議会の活動の流れ（案）

※項目名の数字は会議の回数を表している。



3 スケジュール（仮）

※第2回会議終了後の予定は、状況によって変更となる可能性あり。

時期	内容
H25. 5. 22	【第1回会議】第9次協議会での協議内容、全体スケジュールの確認
↳	既存の取組の現状と課題の整理
H25. 8 月上旬	【第2回会議】連携・組合せによる事業のレベルアップなどの検討
↳	想定事業の検討に向けた準備
H25. 11	【第3回会議】実現性や実効性などを踏まえた想定事業の検討
↳	想定事業の精査に向けた準備
H26. 2	【第4回会議】提案と実践に向けた想定事業の精査
↳	実行計画への提案内容の検討に向けた準備、事業の実践に向けた準備
H26. 5	【第5回会議】実行計画への提案内容の検討、事業の実践状況の共有
↳	実行計画への提案内容の精査に向けた準備
H26. 7	【第6回会議】実行計画への提案内容の精査、事業の実践状況の共有
↳	活動報告書（案）の作成に向けた準備 ※実行計画の策定はH26.10以降を予定
H26. 12	【第7回会議】活動報告書（案）の協議、第10次協議会での協議事項の検討
H27. 3	協議会活動報告書の発行